

～2026年12月上旬、渋谷ヒカリエ隣接地に“夜の新名所”が誕生！～
 渋谷二丁目エリアに「渋谷 スナック横丁」をオープンし、
 ナイトタイムエコノミーの活性化と新たなにぎわいの場の創出を目指します

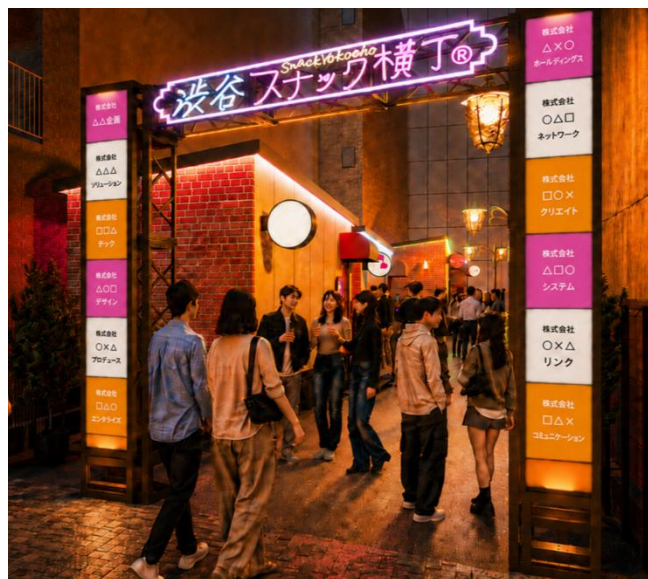
東急株式会社
 株式会社東急レクリエーション

東急株式会社（以下、東急）および株式会社東急レクリエーション（以下、東急レクリエーション）は、オンラインスナック横丁文化株式会社（以下、オンラインスナック横丁文化）と連携し、渋谷二丁目エリア（以下、本エリア）にて「渋谷スナック横丁プロジェクト」（以下、本プロジェクト）を始動します。

本プロジェクトは、東急がエンターテインメント領域において推進する事業ブランド「東急エンタメイト」のもと、日本独特の文化である「スナック」を現代的なエンターテインメントへと昇華させる試みです。スナック店舗をイメージしてデザインした4台のトレーラーハウスによる「渋谷 スナック横丁」を展開し、2026年12月上旬の開業を予定しています。

本エリアは、渋谷ヒカリエに近接する再開発計画地であり、オフィスワーカーや来街者、観光客、訪日外国人など、多様な人々が行き交う場所です。本プロジェクトでは、再開発着手までの限られた期間における暫定利用地を、単なる空き地活用にとどめることなく、人が集い、会話が生まれ、新たな交流やにぎわいを創出する場として活用することで、ナイトタイムエコノミーの活性化を目指します。また、昭和から受け継がれてきたスナック文化ならではの温かさや人と人とのつながりを、Z世代や訪日外国人にも開かれた令和ならではのエンターテインメントとして再構築します。

東急と東急レクリエーションは、本プロジェクトを通じて、多様な人々が自然に交わる「リアルコミュニケーション」による交流拠点を創出し、渋谷の街のさらなる魅力向上を目指します。また、本プロジェクトにおいて「スナック横丁」運営のノウハウを積み重ねることで、今後再開発の準備のために空地になる区画のにぎわいを作り出すとともに、その延長線上での再開発計画においても、「スナック」を中心とした地域に愛される「盛り場」を創出することで、地域コミュニティのハブとなる仕掛けづくりを目指していきます。あわせて、移動式トレーラーハウスという利点を生かし、東急線沿線を中心としたイベントへの参画なども積極的に行っていきます。



▲渋谷 スナック横丁 入口（イメージ）

【別紙】

■渋谷スナック横丁プロジェクト概要

名称 : 渋谷 スナック横丁

所在地 : 東京都渋谷区渋谷二丁目22番14号



開業 : 2026年12月上旬(予定)

店舗運営: オンラインスナック横丁株式会社

■代表者コメント

・木村知郎(東急株式会社 常務執行役員、株式会社東急レクリエーション 代表取締役社長)

このたび、オンラインスナック横丁文化株式会社および株式会社東急レクリエーションとともに、「渋谷スナック横丁プロジェクト」を推進することになりました。

本プロジェクトの舞台となる渋谷二丁目エリアは、多様な人々が行き交う魅力とポテンシャルを持つ一方で、再開発までの期間をどのように活用し、新たな価値を創出していくかが重要なテーマとなっています。私たちは、この場所を単なる暫定利用地ではなく、人と人が出会い、語り合い、新たなつながりが生まれる場として育てていきたいと考えています。

昭和から続く、日本独特の文化である「スナック」には、私自身若い時代に大いに育てていただきました。時代を経て現在の「スナック」は、そのようなノスタルジックな思いを持つ世代だけでなく、さまざまな世代や職業、国籍を超えて人々を結び付ける場として進化してきました。本プロジェクトでは、その「スナック」が持つ文化的価値をさらに進化させながら、Z世代や訪日外国人を含む、幅広い方々に「リアルコミュニケーションの場」として楽しんでいただける、新たな「ナイトエンターテインメント」として発信してまいります。

本プロジェクトが、渋谷の街の夜のにぎわいを創出し、多様な交流を生み出す拠点となるだけでなく、今後さまざまな地域に展開し、それぞれの街のさらなる魅力向上やナイトタイムエコノミーの発展に繋げていきたいと考えています。

・五十嵐真由子(オンラインスナック横丁文化株式会社 代表取締役)

このたび、東急株式会社、株式会社東急レクリエーションの皆さまとともに、渋谷二丁目エリアで「渋谷スナック横丁プロジェクト」に取り組めることを大変うれしく思います。

私は“スナ女®”として全国1,400軒以上のスナックを訪ね歩く中で、スナックはお酒を楽しむだけの場所ではなく、人と人が自然につながる日本独自のコミュニケーション文化だと感じてきました。ママやマスターとの会話、隣り合った人との乾杯、偶然生まれる出会い。そこには、世代や肩書き、国籍を超えて人が混ざり合う温かさがあります。

今回のプロジェクトでは、そのスナック文化を、渋谷という常に新しい文化が生まれてきた街で、令和らしいナイトタイムエンターテインメントとして再編集していきます。オフィスワーカー、来街者、観光客、インバウンド、そしてスナックに初めて触れる方々が、安心して扉を開け、会話を楽しみ、また誰かを連れて訪れたいくなる。そんな“小さな横丁”をつくっていききたいと考えています。

スナック横丁は、これまで培ってきた全国のママ・マスターとのネットワークや、ツアー、イベント、企業・自治体との共創の知見を活かしながら、この場所にしかない交流体験を丁寧につくってまいります。本プロジェクトが、渋谷の街に新たな来街動機と賑わいを生み出し、スナック文化の未来をひらく一歩となることを願っています。

■オンラインスナック横丁文化株式会社とは



全国1,400軒以上のスナックを訪れた“スナ女®”五十嵐真由子が代表を務める「オンラインスナック横丁文化株式会社」は、日本独自のスナック文化を現代的に再解釈し、地域や企業と連携して新たな価値と交流を生むサービスや企画を展開しています。2020年の創業以来、全国のスナックと連携した観光向けツアーや企業研修の実施、地域イベントのプロデュース、文化体験プログラムの提供などを通じて、スナックの魅力を再発見・再発信。特に、Z世代や訪日外国人にもスナック利用が広がる中、会話を軸にした小規模接客サービスの“癒しと対話の価値”が、現代のサードプレイスとして注目を集めています。また、都市部や観光地でのスナックツーリズムや、ナイトタイムエコノミーの新たな担い手としても存在感を高めており、企業のESG活動や自治体の交流人口創出、観光政策とも連動した実績も拡大中。地元の魅力を可視化し、地域に根ざした小さな場の価値を高める取り組みは、多数のワードでも高く評価されています。

■東急のエンターテインメント領域事業ブランド「東急エンタメイト」とは



「東急エンタメイト」は、「まちも、人も、好きが動かす。」をコンセプトに、東急が展開するエンターテインメント領域の事業ブランドです。コンテンツやコミュニティの力で「まちづくり×エンターテインメント」を加速し、街の新たな魅力を引き出すことを目的としています。東急は多様な”メイト(仲間)”とともに”楽しい”を起点とした価値創造を今後さらに加速させていきます。